

宮原運動公園のクレイテニスコート 人工芝コートへ再整備

問

宮原運動公園テニスコートの改修については、公園の再整備の中で検討していくとのことだが、雀宮体育館屋外施設や下田原運動場のテニスコートについても、クレイコート（土のコート）から、砂入り人工芝への改修が望ましいと考えている。

答

テニスコートの人工芝化は、年間を通じて、天候に左右されず利用できることや、維持管理費の軽減が図れるなど、スポーツ活動の場の充実に寄与するものと考えている。



▲宮原運動公園のテニスコート

工芝テニスコートを計画的に整備してきた。

さらには、平成27年度を目標年次とする「スポーツ施設整備計画」において、屋根運動場に一部残るハードコートと利用者が多い宮原運動公園のクレイコートの人工芝化を位置づけたところである。

雀宮体育館屋外施設と下田原運動場のコートの人工芝化についても、整備効果があると考えているが、当面は、計画に位置づけた、屋根運動場と宮原運動公園のテニスコートの改修に取り組んでいく。

産業廃棄物中間処理施設の建設 今後の市のスタンスは

問

平出工業団地の産業廃棄物中間処理施設の建設について、本市では、市長選投票日の2日前、事業主に對し「設置許可申請の承認」をした。これを受け、同社は市長再選後、初登庁日の翌日に「本申請」を提出したが、書類不備のため、縦覧期間が変更されるなど混乱した。

一方、地元では「建設反対委員会」が結成され、反対集会などが開催されているが、事業主による住民説明会は2年以上開催されていない。

答

本市では、国が定める「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、「設置

許可申請書」の縦覧を行ったところであり、引き続き、事業主に対し、不安の解消と信頼関係の構築に努めるよう指導するとともに、適正に審査していく。

「申請承認」については、事業者から指導要綱に基づき、19年2月に「事前協議書」が提出され、審査をしてきたが、法令に基づく設置許可申請に必要な内容が整ったことから、許可申請書の提出を承認した。



▲平出工業団地の位置図

プロスポーツチームは市民へ 夢と情熱を与える地域の財産

問

本市を拠点とするプロスポーツチーム「栃木SC、リンク栃木ブレックス、宇都宮ブリッツェン」は、市民へ夢と情熱を与えることができる大切な地域の財産であり、本市がこれから取り組もうとしている都市ブランド戦略と通じる点があると考える。

これらプロスポーツチームを、更に地域に愛されるようにすることや、都市ブランド力の向上を図るには、これまでの支援に加え、地域・市民がプロスポーツと一体感を感じることができるよう新たな環境づくりが必要と考えるが、見解を伺う。

答

平成21年度、市内のスポーツ情報を網羅し、様々なスポーツ関係者の参加・利用が可能な情報の発信の場となるスポーツ



▲プロレーシングチーム「宇都宮ブリッツェン」の選手たち

情報システムの整備を進めており、プロスポーツ関連の情報についても、取り入れていく。また、プロスポーツチームをより身近に感じ、市民が一体となつて盛り上げられるようにするため、親しみやすい環境の創出やチームの地域貢献活動の充実など、新たな支援方法を検討していく。

今後とも、プロスポーツチームなどへの支援を通して「情熱」が発揮できる風土を形成し、市民が誇れるまちづくりに努めていく。